



食育だより

令和7年度 No.3 久世保育所

♪やきいも やきいも おなかが グー♪



まずは焼き芋の下準備をしました。サツマイモをペーパーで包んで水でぬらし、アルミホイルで巻いていきました。準備ができたら火床に投入です。モクモク煙が出ていて、大丈夫かな…と少しドキドキしながら、無事、火床にサツマイモを入れることができました。



「やきいもはやくたべたいな」とワクワクしながら昼寝をする姿がありました。そして、いよいよおやつの時間、0歳児クラスと1歳児クラスの子どもたちは部屋で、2歳児クラスと幼児クラスの子どもたちは、園庭で焼き芋を食べました。ホクホクの焼き芋を「おいしー」「あったかいなあ」などおしゃべりしながら、おいしそうに食べ、楽しい時間を過ごしました。

季節の行事を楽しみながら、食への興味、関心が高まっていってほしいと思っています。



ササゲの豆ごはんを作ったよ

2歳児クラスでは園庭でササゲという豆を栽培していて、先日、収穫して豆ごはんにして食べました。サツマイモご飯に続き、2回目のご飯炊きでお米をとぐのも上手になってきました。炊飯器に入れる昆布を触りながら「のりみたい」「いいにおいする」と昆布の香りを楽しんでいました。ごはんが炊きあがり、炊飯器の蓋を開けると、歓声を上げて喜んでいました。自分たちで作った豆ごはんの味は格別だったようです。



うわーすごい

さんまの骨、うまくとれるかな?

5歳児クラスでさんまを炭火で焼いてもらい、自分で骨を取りながら食べる経験をしました。前日からさんまの骨の取り方を手作りの模型を使って教えてもらい、慎重に身の真ん中に箸で切れ目を入れ、中骨を取っていました。魚の骨を取って食べる経験が初めての子どももいましたが、何とか骨を取り、「じぶんでできた」と満足そうな様子でした。



みて、ほねとれたよ